

「あなたを変える力」

使徒言行録 第19章 11節～20節

説教 本庄侑子伝道師

今日の聖書箇所は恐ろしい超常現象に思える出来事が連続しています。しかし、聖書はこれらを単なる超常現象として語っていません。これらはパウロが「神の国」を宣べ伝えていた所に(8節)起こっていました。「神の国」は「神の支配」と言い換えることができます。パウロは伝えました。神の支配がこの世界に実現し、あなたの人生にも及んでいる、と。さらに言い換えれば、あなたは神に愛されている、ということです。神は、その言葉が真実であることを知らせるため、パウロを通して人々の病を癒し、悪霊を追い出す奇跡を起こしておられました。当時、病人や悪霊にとりつかれた人は、神から見放されている、と考えられていました。神は奇跡を通してお示しになりました。そうではない、彼らにも私の愛は及んでいるのだ、と。

神の支配があなたの人生に及んでいる。そう聞くととき、私たちの多くはネガティブな印象を持つかもしれません。誰かに支配されるということは、自分の意志を奪われ、窮屈な思いをすることのように思えるからです。私たちは、誰にも支配されず、自分の思い通りに生きる人生に憧れます。それはパウロの時代も同じでした。人々は、窮屈そうな神の支配については聞き流し、自分の思い通りに生きることを助けてくれそうな力を求めていました。彼らが求めた力は、今も様々な形をとり、私たちをとりこにします。

神の力を利用しようとした人々は、悪霊に取りつかれている男に飛びかかれ、押さえつけられ、ひどい目に遭わされ、裸にされ、傷つけられて、家から逃げ出しました。自分の願望をかなえてくれそうな力を利用していったつもりが、いつしかそれらに振り回され、ひどい目に遭わされ、惨めな結果だけを得る。人間の歴史も、私たちの人生も、そのようなことを繰り返しています。

人々は、この事件を通して「恐れを抱き」(17節)ました。この「恐れ」は、英語の辞書では〈アラーム〉とも訳されます。彼らは、ただ恐ろしい思いをしたに留まりませんでした。恐れというアラームにより「主イエスの名が大いにあがめられるように」(17節)になりました。言い換えれば、心の中が主イエスでいっぱいになった、ということです。自分の願望でいっぱいだった心に鋭いアラーム音が鳴り、主イエスのことで心がいっぱいになったのです。

「このようにして、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していった。」(20節)「主の言葉」とは、パウロが語り続けてきた「神の支配」です。それまでは抵抗し、聞き流してきました。しかし、何にも支配されないつもりが、実は自分の願望に支配され、不自由な姿をしていたことが、この一つの事件を通して露にされたのです。私は神の愛の支配の中にいた。私は神に愛されていた。そのひとり子を与えるほどに愛されていた。これまで聞いてきた主の言葉がアラーム音と共に彼らに臨み、勢いよく広まり、力を増していきました。

パウロもかつて同じ経験をしました。誰もがうらやむような境遇で育ち、エリート中のエリートとして生きていた人生のある地点でキリストに出会われ、神の愛の支配の中にいる自分を知りました。そして、自分の価値を高めるために手に入れ、利用していたものを、神の愛を伝えるために用いる人生へと変えられていきました。大阪教会聖堂を設計したW.M.ヴォーリズは、かつて主イエスに「あなたはどうするのか？」と問われる経験をし、日本伝道へと召されていきました。6年前、私は大阪教会の聖堂で行われた講演会を通して、日本伝道のために伝道献身をし、東京神学大学で学ぶという方向に人生全体が転換させられました。

パウロもヴォーリズも私も、特別な人間だったわけではありません。自分の人生に有利なものを手に入れることで心がいっぱいだった罪人にすぎませんでした。ただただ、神の愛に捉えられ、主の言葉がその内で力を増し、方向転換させられたのです。

神の愛は、あなたの人生にもたどり着きました。神などいないかのようにして生きることも、自分自身を追求することも、もう終わりです。神がこの世界を愛し、この私を愛し、人生を用いてくださいます。神の愛が全ての全てとなる終わりの日を心待ちにして、今を生きる人生へと変えてくださいます。

あなたを変える力が、今ここに臨んでいます。神は招いておられます。私のもとに来なさい。私の言葉を聞いて歩みなさい。主の言葉から歩み出すその先に、主の言葉はますます勢いよく広まり、力を増していくのです。

(記 本庄侑子)